

柏ビレジ自治会便り

= 号外 =



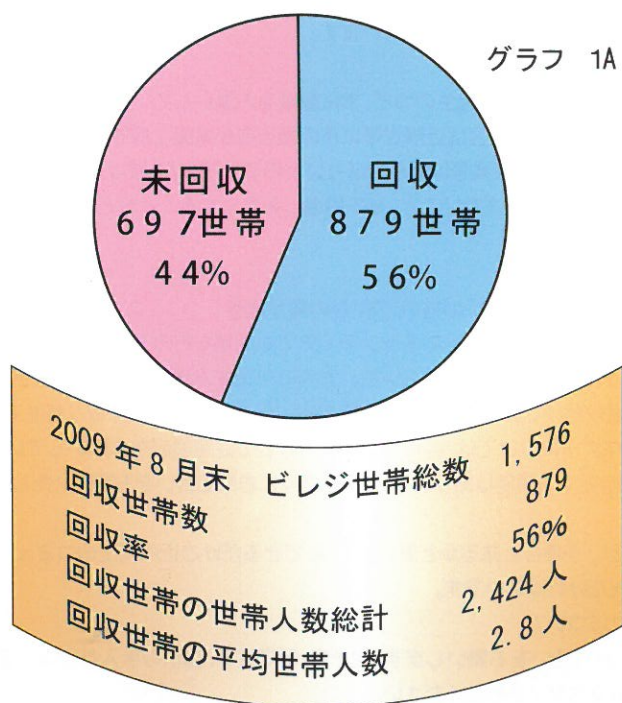
柏ビレジ・ニュース

2010年3月20日
 柏ビレジ自治会発行
 自治会事務局(自治会館)
 TEL 7132-1925
 FAX 7132-1965

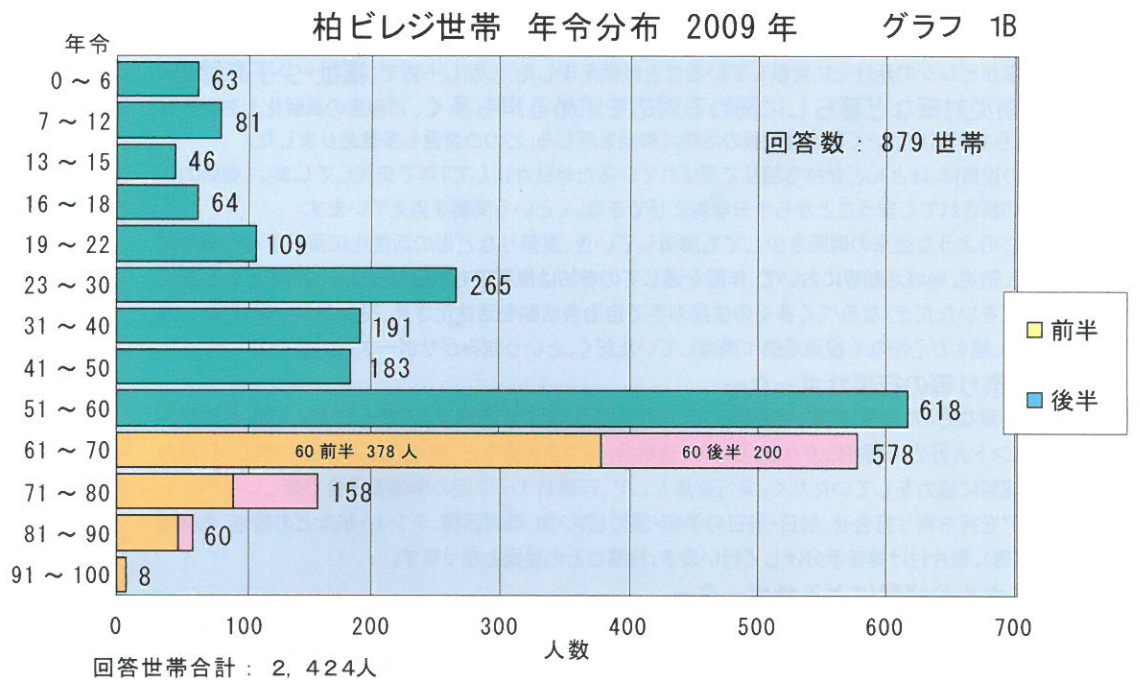
柏ビレジ自治会 アンケートの結果をお伝えいたします!

ビレジがスタートして28年、庭木の緑が増え各戸のシンボルツリーは大きくどっしりと育ってきましたが、一方その頃小さかったお子さんも大きく成長しご自身も高齢になるなど、世代の構造変化が起きています。その間東急ストアの閉店、路線バスの廃止あるいはTXの開通など社会環境も変わってきました。今後柏ビレジはどうあるべきかの議論も多くなってきました。その中において、世代のアンケートとともに住民の皆さまの声を直接お聞きし、今後の柏ビレジを考える上での情報を提供していただくべく、昨年8月に全住民に対しアンケートの協力をお願いいたしました。

柏ビレジアンケート 2009 回収率・平均世帯人数



美しい街並み、住民が声をかけあい心の触れ合う生き活きとした街！
 そんなビレジを守っていききたい！



1. 住民の世帯構成の変化 → 子供の成長と親の高齢化

住民の皆様の多くが、緑が多く美しく整った街並みを気に入られ、ビレジの生活を始められました。そして早や28年が経過、緑、道路、各戸の塀・概観などの街並みはほぼそのまま美しく維持されてきましたが、かつて庭や公園で遊んでいたお子さん達は大きく成長していく一方、ご自身は60歳、70歳と高齢になってきました。ビレジの世帯の中心は50歳代が26%、60歳代で24%と、50歳と60歳でビレジ人口の50%を占めるに至りました。高齢化は日本の問題でもあります。ここビレジにおいても例外ではありません。しかし、今の時代の50歳代はまだ現役で働き盛り、若い世代では20歳代で15%、それに続いて30歳代、40歳代と続いているので、まったくの高齢化ではないと考察されます。(グラフ1参照)

2. ビレジの美しい街並みを愛し、維持していききたい。 不審者や凶暴者のいない、空き巣に入られない、 安全で安心な街にしたい。

ビレジは建築協定、緑地協定、視聴覚組合などを通じ、緑の多い、美しく調和の取れた街並みを維持してきました。美しい公園、街路樹、各戸の生垣、アイビー、レンガ、シンボルツリー等に囲まれ、他の町には見られないちょっと自慢したくなるような環境にあります。そして住民の皆さんが今後もこの美しい街並みを維持していきたく願っています。夜間パトロールにも積極的な参加があり、多くの住民がビレジの街の安全を願ってやみません。(グラフ2参照)

3. 毎年積み重なっていく夏祭り、餅つき大会等の思い出、 サークル活動、自信作の文化祭での出品。

ビレジ夏祭りの楽しい笑顔、お正月の餅つき大会、歌、踊り、手芸、その他の趣味のサークル活動、仲の良い仲間との旅行、住民が集まり、声をかけてお互いの健康を喜び合う、あるいは自分達の作品を文化祭に展示し、コンサートで発表する、同じ思いで活動するボランティア、ビレジが生き活きとしている場面です。私たちは、住民同士が声を掛け合い、心を通わせ楽しい時を過ごし、仲良く助け合う、そんな生き活きとした生活を愛し、維持していきたく願っています。(グラフ3参照)

4. 買い物、交通の不便さ、社会基盤整備の遅れ。

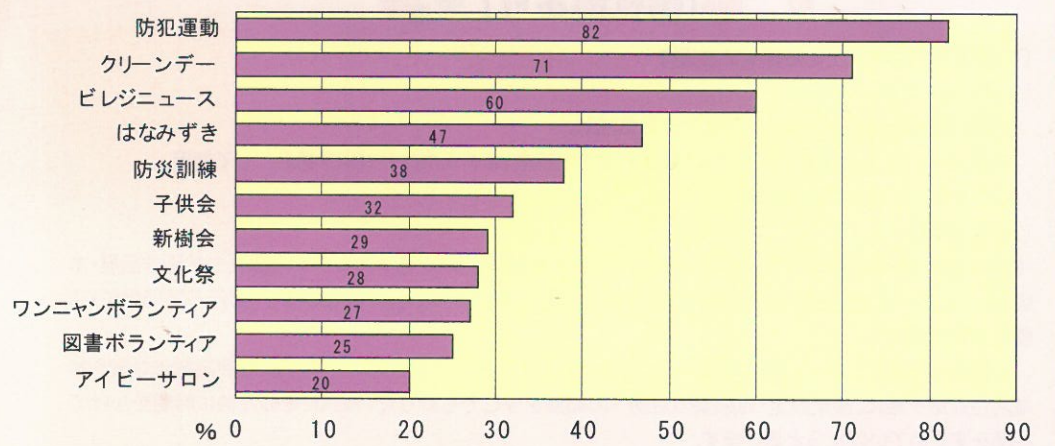
東急ストアが閉店し、商店街のお店も少なくなって買い物が不便になってきました。一方バス交通では、松葉町経由北柏駅行きの路線廃止は大きな痛手でした。柏駅西口、北柏駅、柏の葉キャンパス駅、柏たなか駅行きのバス便も決して十分でなく、いつも不便さを感じています。長い間待っていたつくばエクスプレスは開通しましたが、柏たなか駅の東口は未だできておらず、ビレジに向かう道も夜は暗く女性の一人歩きなどとてもできない状況です。

5. 高齢化が活性化にブレーキ?

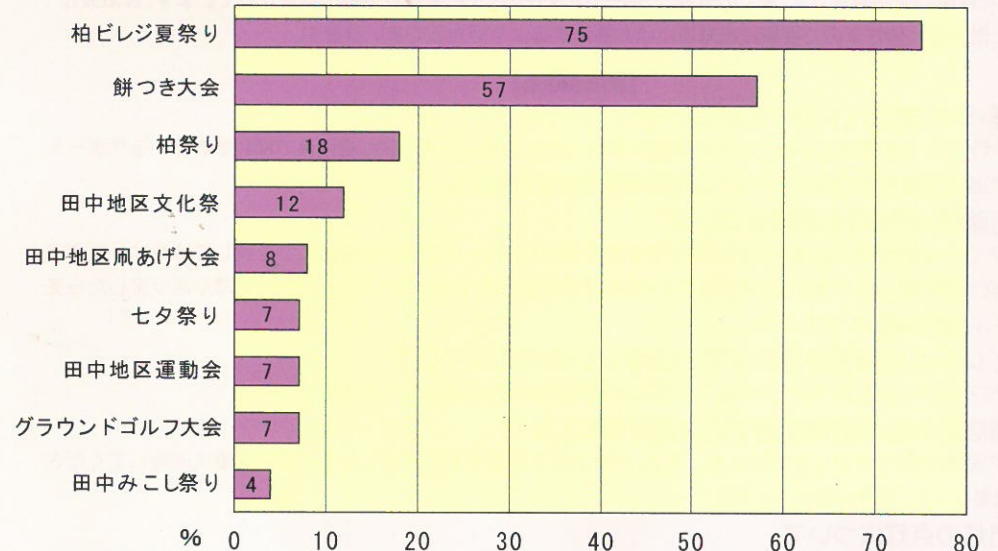
子供が成長する一方親が高齢になり、地域の運動会などそれぞれの行事に参加する機会が少なくなってきました。ビレジの活性化の原動力にもなっている自治会活動・地域活動への協力も十分にできなくなり、自治会役員になった際にも十分に動けないのではと、体力の低下に伴う不安と負担を大きく感じる人も出てきました。そういったことから、自治会の事業を減らすべき、との意見も寄せられました。高齢化と活性化の葛藤が始まっています。また、高齢になるとマイカー運転ができなくなりバス、タクシーを使わなければならない時がくることを思うと心配になるという方も増えてきています。ゴミ出しやゴミ当番も十分にできないことで、近所同士、話し合うケースも出ています。

2009実施柏ビレジアンケートでは、住民の皆様方からの多くのご意見と世帯状況についての情報をお寄せ頂きました。個々のご意見の公表は紙面の都合上控えさせていただきます。

柏ビレジ2009 防犯・環境・文化・地域活動 関心度 グラフ 2



柏ビレジ2009 事業活動関心度 グラフ 3



一方高齢化は若い人達がたくさん移り住むことで改善されることから、若い人たちに魅力のある街づくりの必要性を訴える意見もありました。いずれにせよ、高齢化が進む前に早急に準備し、解決していかなければならないたくさん問題に私達は、今、直面していると言えます。

▼アンケートの結果をもとに自治会各部の今後の課題と取り組みを考える・・・▼

【事業部より】

柏ビレジ自治会では、夏祭り、餅つき大会などの自治会独自の事業のほか、田中地域ふるさと協議会が主管となる七夕祭り、運動会、凧あげ大会に参加しています。アンケートでは、参加行事の絞り込みなどのご意見もいただいておりますが、夏祭り、餅つき大会は、アンケート評価も高く、皆様のご期待にお答えすべくこのまま開催を続けていきます。ビレジの文化祭は、はなみずきでの開催となります。また、田中地区ふるさと協議会では、地域における一体感を図るためにも参加していきたいと思っております。つきましては、ビレジニュース3月号にて、田中地区ふるさと協議会についての記事(武内氏)を掲載しますので、ご理解いただくと幸いです。今までも自治会役員の負担を軽減すべく行事ごとに担当を決め、参加をお願いしてきましたが、今後は、経験者をはじめ、お手伝いしていただける方を募る**サポーター制度**を立ち上げ、行事運営をスムーズにする方法を探っていきます。また、参加者の減った子供会との連携を深め、無理のないところでの行事のあり方、参加の方法を模索していきます。

☆自治会サポーター制度とは？

。。。活き活きとした街、ビレジの活性化を皆さんの参加と行動でさらに推進していく取組みです。

今回のアンケートでは、**地域活性化と住民交流を求める方が多く**、夏祭り、餅つき大会などの行事がビレジの活性化に貢献していることが伺えました。しかし一方で、**福祉・少子高齢化・環境・防災対策など暮らしに関わる対応を求める声も多く**、ご自身の高齢化とあわせて、これらに対応していく自治会役員の活動に負担を感じる、とのご意見も多数ありました。自治会の役員は、ほとんどが持ち回りで選ばれているため往々にして1年で交代してしまい、継続的な活動が中断されてしまうことから十分な対応ができない、という問題を抱えています。

そこでこのような従来の問題を少しでも解消していき、夏祭りなど街の活性化に貢献する行事や福祉、環境、防災、地域活動等において、年間を通じての参加は無理でも数日ならば参加可能という方にお力添えをいただき、なるべく多くの住民の手で自治会活動を活性化させ、役員の負担を軽減・分担し、皆さん誰もが心配なく役員活動に邁進していただく、という試みがサポーター制度です。

(1)お祭り等の行事サポーター

踊りの得意な方、力自慢、健脚、焼きそば・豚汁作り名人、餅つきの達人、スポーツ得意人間、役員経験者、イベント大好き人間等の方が、夏祭り、運動会、餅つき大会など、自治会および田中地区の行事の準備や運営に協力をしていただく。実行委員として、行事前1～2回の準備委員会で楽しいイベントアイデアを持ち寄り打合せ、前日・当日の準備・運営(買い物、機材運搬、テント・机などの設営、食材揃え・調理等)、後片付け等を手分けして行います。行事ごとの登録となります。

(2)スキルや経験によるサポーター

カメラが得意な方、パソコン(ワード・エクセルなど)が得意な方、ホームページ作成の得意な方、年6回に発行回数が増えたビレジニュースの取材・執筆・編集・行事等の報道等の経験者、アンケート・回覧・活性化プロジェクトなどのサポート等。また大型車の運転ができる方、防犯・防災の知識や活動歴をお持ちの方、会計の知識をお持ちの方、その他様々な分野でスキル・経験・知識をお持ちの方。

皆さんのご意見・ご希望を**実行していくためには、皆さんの参加と行動が必須**です。今後、回覧やビレジニュース3月号にて**ご案内いたしますので、多くの皆様のご協力をよろしく**お願いいたします。

【福祉部より】

(1)夏祭りへ80才以上の高齢者をご招待

(2)「はなみずき」への支援

- ・家賃賃料・共益費などボランティア活動費補助。
- ・認知度向上と利用者拡大を目的に「はなみずき喫茶券」をグラウンドゴルフ賞品として使用。

(3)グラウンドゴルフ大会実施

(4)文化事業

・鉢物・盆栽・書・和紙ちぎりえ・トールペイント・バードカービング・カンボジアの子供たち絵画作品展・木版画・花野井小学校生徒作品(33人)・田中小学校生徒作品(21人)などの「はなみずき」展示(2週間単位)活動を側面支援。

上記のようなこれまでの既存事業中心の活動から、アンケートの結果に見られる、住民高齢化対策や地域活性化対策を軸に、課題設定・対応型の活動への転換を少しでも計りたいので、そのために時間をかけて準備をすすめていけたらと思います。

【防災部より】

今回のアンケートで、回答者の82%の方々が防犯について関心あり、と関心度が最も高く、防災についても38%の方々は関心をお持ちです。多くの皆様が、何らかの防犯・防災対策を自治会に期待されています。自治会としても、防災部に皆さまのご要望に出来るだけお答えするよう努力してまいります。

【防犯関係】

(1)夏・冬の夜間パトロールについて

もっとパトロールを増やして欲しいとの意見が多かったことをふまえ、現在、自治会で検討されているサポーター制度の進捗結果を見据えてパトロール期間・時間帯の拡大を検討していきます。

(2)街路灯・防犯灯の修繕について

夜間パトロール期間中には点灯確認は対応できますが、パトロール期間外の確認につきましてはやはり近隣の方々の協力が必要となります。日頃から近くの街路灯・防犯灯をチェックしていただき、異常がありましたら支部長さんに報告をお願いいたします。

(3)ビレジよりTX柏たなかまでの土手沿いの街灯について

今後も市アドバイスを受け国土交通省に継続的に街路灯設置の要請をしていきます。

(4)商店街付近や駐車場等での夜遊び等について

商店街の駐車場等で夜遅くまで遊んでいる人、付近での不審者を見かけましたら花野井交番に通報してください。通報あり次第、署員が駆けつけます。

(5)門灯の点灯について

門灯の点灯依頼を回覧しても点灯してもらえないとの苦情がありましたが、何度でも点灯依頼の回覧をしますので防災部にご連絡ください。

【環境部より】

(1)クリーンデーについて

草むしりの草は、市で一括収集しませんので参加者が各自持ち帰り、一般の収集に出していただいております。植え込みの下草刈りは、市の予定(他の地域との順番)で、クリーンデーに合わせる事ができない場合があります。落ち葉の収集は行っています(2トントラックで約4台分)。08年まで大室のトマト農家さんが堆肥として引き取っていました。09年はその農家さんが引き取りをやめたため、暫定的に他の農家さんをお願いしました。10年度からは、協力農家さんを探し直すか、市でゴミとして処理するかを検討します。

クリーンデーはビレジだけでなく、田中地区全体で行う地域の清掃です。ご参加の皆さまがご高齢の方や妊娠中の方などを助けていただければ幸いです。お体の具合などによってはお休みいただいても問題ありません。事前の回覧板をご参照の上お隣近所お誘い合わせの上、多くの方にご参加くださいませ。

(2)ゴミ出し、ゴミ当番について

高齢などのためゴミ当番が難しい場合、ゴミ当番の班内で、分担、交替ができないか、お話し合いをお願いいたします。お話し合いのつかない場合は、環境部までご連絡ください。一緒に解決策を考えます。

(3)植栽の整備、草刈り、害虫駆除などについて

①草刈りがいいかげん、②治道の桜の木を切りすぎて花が見られない

市を通じて丁寧に行っていただくよう申し入れを行います。

③害虫駆除について

チャドクガ・アメリカシロヒトリなどは、発生つど、市に駆除をお願いしています。市の対応は非常に迅速で丁寧です。葉をやむをえず使う場合は近隣世帯に市の担当者が直接了解をとっています。蚊の駆除は市では行っていません。個々に直接業者に頼んでほしいとのことでした。蚊は水たまり(植木鉢の受け皿など)で繁殖します。水たまりを残さないこと、庭の風通しを良くすることなどが防除に有効なようです。

(4)マナーに関する事

①犬・猫のフン害がなくならない、放し飼いの猫が迷惑、鳥の糞が迷惑

回覧板にてマナー向上を呼びかけ、わんにゃんボランティアでも清掃を行うなどしています。ボランティアに直接ご相談いただければ、猫に関しては追い払い方等の対策をお教えし、猫の駆除や保護は、県・市でもボランティアでも受け付けておりません。犬の糞に関しては、市より看板を取り寄せできます。ビレジ外からの散歩の方のマナーについては、各町会の連絡会などで注意喚起をお願いしています。小鳥の餌付けに関しては、条例などでの規制はありませんので、個々にお話し合いをお願いいたします。

②音の迷惑について

ご近所同士で言にくいという場合もあるかと思いますが、できるだけ近所同士のコミュニケーションを駆使して解決していただければ幸いです。

③個々の家の植木の手入れについて

これも、お隣近所同士でお話し合いをお願いします。空き家・留守宅で、植木の手入れがなく著しく無用心な場合には環境部まで直接お問い合わせください。

(5)今後の検討課題

①不動産屋の売り出し中のぼりを禁止するよう自治会から申し入れをすべき。

②浄化槽から本水槽にかからないので高い下水道代を払わされているのでは。

③ピオトープを住民総出で清掃をしたらどうか。

④夜の商店街駐車場であつちの若者がいて迷惑。

⑤環境対策の結果が知らされていない。

10年度に、個々に関係部署および企業に問い合わせを実施します。場合によっては住民有志による解決委員会のようなものを組織することも考えています。

自治会にお申し出・お問い合わせのあった事柄は、支部長さんを通すか、ご本人に直接結果をお伝えしています。全体に関わることは、随時回覧板でご報告をしておりますので、ご覧下さい。その他ご不明の点がありましたら、いつでも環境部長までお問い合わせくださいませ。

【広報部より】

年間を通してビレジニュース発行をひとつの大きな柱とする広報の活動ですが、今後は、自治会の中で各部の動きやその他いろいろな情報をまとめるしくみを整えることで、広報としての位置づけを確立し、よりスムーズにビレジニュースに反映させていきたいと思っています。アンケートに寄せられたご意見をもとに、行事の報告だけでなく、先々の事やいろいろなご案内ができる、自治会報としてのわかりやすい紙面をめざします。

【防災関係】

災害対策・対応について沢山の意見が寄せられていますが、その中から自治会の出来る範囲での防災訓練、防災対応をしていきます。

(1)防災避難訓練

できるだけ多くの皆さまに体験していただきたいので、防災訓練は防災部単独で行うのではなく、事業部の協力を得て、餅つき大会など参加者の多いイベントに合せて行うことを検討しています。

(2)災害時情報収集・伝達と自家発電動作訓練

大規模な災害が発生し停電になり、固定電話も携帯電話も回線が混雑し、使用不可能な状況が予想されます。自治会では、自治会館内に柏ビレジ・ハムラジオクラブの協力を得てアマチュア局を開設しています。これにより情報伝達手段の機能が確保でき、災害状況、被害状況、負傷者の有無、避難所の状況等を災害対策本部に報告できます。

又、停電時対策として発電機付き発電機を常時準備しています。防災部では定期的(毎月の役員会の前)に動作訓練を行っています。(尚、柏ビレジ・ハムラジオクラブのメンバーは現在7名です。)

(3)K-Netについて

アンケート結果による年齢分布で明らかのように、少子高齢化はビレジにおいても例外ではありません。災害時の、高齢者、障害者等て要援護者はK-Netに登録することにより、同じくK-Netに登録した支援者が安否確認や、一緒に避難する等の支援をすることになっています。現在、ビレジでは要援護者として32世帯41名がK-Netに登録されています。自治会では、要援護者の支援者として活動に参加していただける方を募集していきたいと思っています。

皆さまから寄せられた多数のご意見に対し、今回のアンケート報告で全てお答えすることはできていません。**今後でもできる限り対応していく所存ですが、問題解決には人の協力と時間が必要です。一度で断念されず引き続き自治会にアピールして頂き、共に解決を図っていきたく**と思っていますのでこれからもご協力をお願いいたします。